

令和6年度 地域まちづくり推進協議会 総合研修会 アンケート結果

1 あなたの性別と年代について

		回答数	割合
【性別】	男性	39	63%
	女性	18	29%
	回答しない	5	8%
	合計	62	

		回答数	割合
【年代】	20代以下	2	3%
	30代	1	2%
	40代	2	3%
	50代	10	16%
	60代	8	13%
	70代	29	47%
	80代以上	10	16%
	合計	62	

2 本日の研修会はいかがでしたか。

	回答数	割合
とても参考になった	27	49%
参考になった	24	44%
参考にならなかった	0	0%
まったく参考にならなかった	0	0%
どちらともいえない	4	7%
合計	55	

※設問2と3の自由記載欄は、最後に掲載。

4 今後も同様な研修会があれば参加してみたいですか。

	回答数	割合
ぜひ参加したい	17	29%
機会があれば参加したい	38	66%
あまり参加したくない	0	0%
参加したくない	0	0%
どちらともいえない	3	5%
合計	58	

※設問5は個人情報なので省略

6 あなたが地域で活動する中で、課題だと思うことに○をつけてください。（複数回答可）

	回答数	割合
担い手の確保	47	36%
意見交換の方法	13	10%
地域課題の検討（抽出）方法	19	15%
他の地域団体との連携方法	16	12%
行政との連携の仕方	17	13%
事業構築の手順	9	7%
その他	8	6%
合計	129	

※割合は四捨五入しているため、100%になっていません。

「その他」の詳細

連絡を取り合う手段等。若年層はLINEの交換に心理的ハードルが高い…！？。他アプリ等あれば…。
現在のままではいけないという危機感。
地域に住んでいる認知症と思われる高齢者への対応。
自分のでがらを欲しがると目的で会社イベントやる人が多い。
若者との関係づくり。
担い手を自分で見つけてこないと役がおりれない。
意見交換の場を増やしてほしい。
サンプルがほしい活動方法。
老人クラブ。

2 研修会に対する意見や感想（原文のまま記載しています）

旭川市に対する課題・解決点を述べ、自分なりの意見を述べる説明はわかりやすいと感じた。
普段あまり『町内会』というくくりの視点で物事を考えることがなかったので、非常に良い機会でした。
町内会の活性化に向けて、いろいろな視点で理解を深めることができました。今後に向けて、具体的な方策について示してもらい参考になった。
地域まちづくり推進協議会はどこに進んでいるのでしょうか？コロナ禍から参加していますが、きはくしていると感じます。いろんなコミュニティに参加していますが、市のまちづくり推進協議会のコミュニティが一番なぞで一緒になにができるのかわかりません。
とてもわかりやすく参考になった。

行政の手が届かないから、町内会やボランティア活動に…と思っていたが、行政が整うと逆に地域コミュニティが崩壊するというのが興味深かった。相方成立にはバランス良く介入と依頼が重要だと思った。
わかりやすい内容で課題、方法など理解することも多かったけど、まだ関わり始めたばかりで、自分の困りごととして、とらえることができなかったのも、今後、参考にしていきたいと思いました。
創造するヒントをあたえてくれた。
全体的に高領の方向けの内容だった。個人的に説明してくれた成功体験が裏付けデータなく（＝多くの人など）頭に入らなかった→聞いたままやりそう（他の参加者）。これやったらよかった→ここがダメだったみたいな話がききたかった。口を出す年寄りが多いと思う（旭川は）
町内会を運営している年代層と参加してほしい年代層をどうつなぐのかがポイントとなることわかりました。なるほど！と思うことばかりでした。
具体的で久々によいお話でした。理想論だけではなく現実的な資料もためになりました。
私が所属する町内会も、会員の高齢化による役員のなり手不足、行事のマンネリ化や縮小、中止という問題に直面しています。町内会活動を活性化させる手立てはどのようにすればよいのか改めて考えさせられました。
町内会・市民委員会の運営内容の「とうめい化」が必要。旭川市は、行政・教育委員会・教職に対する不信感が高く、それを「になう」市民委員会、町内会の不正がそのままになっている。戦後の町づくりから、核家族化による他人との共存信頼関係づくりをどう行政が「タンポ」するか→その時行政が市民に信頼されているかが町づくりの基盤になると考えます。地域コミュニティキッチン実施時の公民館・地区センターの利用料減免推進。
役員のなり手の世代交代を図ろうとしているところであり組織の見直し方の発想にアドバイスをいただきました。
地域の関係者にも聞かせたかった。
・70才以上が多いので、どーしても、老人中心のイベントになってた。 ・町内で、会費等集金のアンケートをした事があるけども、結局、今まで通りになった。 ・青年部が機能していない（高令役員だから仕方ないか）
もっともっと若人に声掛け出来る様積極的にアタックしたい。
町内会のHPにQRコードを添えるのは良いアイデアと思う。旭川市中心部のまち協、或は町内会と、旭川市周辺のまち協、市民委とでは、住環境が異なるので、一般論では語られにくいと思います。様々なアイデアを酒本様からいただきました！
町内会、市民委員会における→活動に役に立つべくヒントを頂いたもの思料。本日は有難うございます。
大変参考になりました。ありがとうございました。
町内会役員会等で伝えて行きたいと思います。
町内会の悩み等とてもわかりやすいお話でした。とっても良かったし今後生かして行きたい。

当町内会も担い手がなく苦労している。いかに町内会員に町内会の内容をより理解してもらう取組が必要と思うし特に若い層に。
努力目標とその達成のための方法を教えていただき感謝している。
地域活動の衰退は当然ですが、旭川市自体の衰退している状況です。買物公園の問題や、産業の問題等の課題対策、街（市）の活性化が必要→年々衰退している。
概括的な理解はできたが、個別の町内会に対しての具体的な内容があればもっとよかった。
現在の町内会、市民委員会が向いている方向は、やはり高齢者が中心なので、何を考えても硬直化したアイデア（？）、意見しか出ない。これではやがて町内会は消滅すると思っても改善する方策を見出せなかった、今日の研修会は目からウロコ！！
担い手不足のヒントになった。
若い世代へのアプローチの重要性に気付かされました。さっそく実践してみたいと思います。
ばくぜんとした思いから、具体的な実践を参考例とする何かのヒントをたくさんいただきました。
勉強になりました。若い世代を取り込む要領について理解ができた。
アンケート調査はしばらくやった事がないので、考える余地は有りかなと思いました。7年、8年前にやった事があります。その時の回収率が大変高かった事を思い出しました。
地域活動の参考になりました。もし次回があればステップアップした研修を聞いてみたいです。
我が地域もこの課題にぶつかりました。いかに若い方を入会してもらうか？私達の時代は仲間がいて協力者が多かった。
色々な活動内容の紹介があり参考になった。
町内会や市民委員会の活動のあり方について大変参考になる研修会でした。参加してよかったと感じています。
町内会が解散している。なくても不便を感じないでいる人がほとんど。どうにかして何らかの集いを実施したいと思う。今日の集会を受けて考えてみようと感じた。実践したい。
コミュニティのニーズについて参考になった。地域の価値を高めるプロジェクトの立ち上げ。
我が地域の'まち協'の取り組みもコロナ災害があけて軌道に乗りつつありますが、役員・サポーターの若返りに苦慮しているところです。今日のお話を参考に進めていくことにします。
町内会を維持していくためには、会費が必要。事業費は会員からの負担金になりたっている。50%が会員で半数しか参加できない。極端に言えば会員のための町内会である。
良い話しでした。
高令者と若者との情報のやり取り方が全く違うことを考えていなかったことの反省。
他の町内会の説明はいらないと思う。旭川市の町内会について、もっと掘り下げて説明をしてほしい。
※他市町村のまちづくりに関する活動等が紹介があり今後の活動（特に若い世代の取込）に役立ちそうに思いました。
※高齢者重点の活動を若い世代対象に切り変えていきたい。
※全体的に参考になる話しが多く今後の活動に役立てていきたいと思います。
4月の研修会でいろいろ考えさせられました。又次回ある時は参加したい。

3 今後の研修会で取り上げてほしいテーマ（原文のまま記載しています）

旭川市の財政政策や税制について興味があります。
国内、海外問わず、さまざまな面で好事例を今回のように知ることができたら良いと思います。
町内会、地域、福祉コミュニティ等の形成や運営がうまくできている（成功事例）。他市区町村の実践者の方のお話等も聞いてみたいです。
今回の内容を継続的に学びたい。
地域まちづくり推進協議会のやるべきこと（活性化に向けて）。組織はあるが、成果はまだ足りないと思う。
町内もそうですが旭川の自慢できる場所（既存の歴史ある場所）を（維持管理）大事に出来るように旭川（市）の考え方を変えたい。。。というテーマもお願いします。
町内会、まち協その他似たような組織の違い。
イベントの企画のしかた。
地域の学校と町内会の関わりについて 例）学校ボランティアメンバーの町内会活動への参加は、どのような形が好ましいか。 例）町内会メンバーによる学校教育への関わり（声かけ、見回り、講演会など）について。
大人が責任を持って地域づくりに参画出来る「まちづくり」の事例。
今回のテーマ、来るまで何かnao思っていたがとても良かった。旭川はまちづくりと町内の間に市民委員会もあり動きとして連ケイがいまひとつと感じている。委員の問題かな。
・町内会に入りたいがらない。やめてく（非会員が多くなってる） ・町内会自体をやめてしまった地域はどーなってる？
各まち協がどのようにして地域住民に会議結果を周知しているか、地域からの声をどのように吸い上げているかの情報交換が欲しい。まち協の各委員は、それぞれの組織+公募で組成されていますが、全地区の家庭に、悩み、希望等のアンケートを作る事で、地区の内情が見えて来るといいます。
同種類の会が沢山ありますが、統制した方がベター。効率良く活動したらと思います。
市内の「まちづくり」のとり組の実態を聞きたい。
町内会にて取り組んだ新しい行事等で成功もしくは感心が高まった内容を知りたい。
世代を越えた市民委・町内会のプロジェクトの実践例を知る機会があれば…
旭川市の魅力、地域の魅力。
個別の町内会に対しての具体的な内容。
地域防災のあり方、特に郊外地区における防災のあり方について。
もっと事例をお願いしたい。災害の少ない旭川は、平和ボケをしているように思います。
ゆとりのある役員（町内会、市民委員会、他）、市のバックUP、今は市をバックUPしていると思います。スケジュールがいっぱい。
※末端の町内会の現状を知る事が大事である（既に市民委員会・町内会では、おおむね実施している。それでも負けずに実施している。要は、この町内会に住んでいて良かったと言える事業が必要である。トップの行動が重要である。）

当町内会は小学生は1人、青年は2人～3人、その他は65才以上、世帯数は25、ほとんど75才以上であるので、その情報を伝達方を知りたい。回覧板は回すけれど見ていない様だ。

①町内会未加入者を取り込む方法にふれていましたが、もうすこし具体的事例を多く取り入れてほしい。

②学校や市町村等行政参加の方策と、今後の活動事例を具体的に知りたかった。

町内会のあるべき形、すがたを深く事例を知りたい。